

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全128コース('22.11月現在）

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
 - ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

実績累計
(静岡)
(全国)

受講者数 6,086 人
199,296

利用した企業数 2,321 社
67,254

受講者評価
(業務への役立ち度) 98.0 %
98.3

※'17～'22.12月末まで

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

- ・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの コーディネート

- ・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入して業務を効率化したい。

分野 ・ コース

- 生産管理、流通・物流、バックオフィス など
- ・生産現場の問題解決
 - ・RPA活用
 - ・テレワークを活用した業務効率化 など

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

分野 ・ コース

- リスクマネジメント、組織力強化、生涯キャリア形成 など
- ・成果を上げる業務改善
 - ・リスクマネジメントによる損失防止対策
 - ・作業手順の作成によるノウハウの継承 など

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

分野 ・ コース

- 営業・販売、マーケティング、プロモーション など
- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
 - ・提案型営業手法
 - ・提案型営業実践 など

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

分野 ・ コース

- ネットワーク、データ活用、情報発信 など
- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
 - ・集客につながるホームページ作成 など

訓練受講

- ・所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部
ポリテクセンター静岡（生産性向上人材育成支援センター）

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂3-1-35
TEL : 054-285-7153 FAX : 054-285-7247

生産性センター 静岡



生産性訓練 利用者の声 (県内)

電業社互事株式会社 DKK CORPORATION

「ITツール活用による業務改善のイメージが明確になり、社員のモチベーションがアップしました。」

利用コース情報

- ・訓練コース名：
「ITツールを活用した業務改善」
- ・訓練期間：令和4年9月
- ・受講者数：12名

プロフィール

- ・所在地：静岡県三島市
- ・従業員数：16名
- ・事業内容：ポンプ・送風機等の据付・保守

<訓練を利用した事業主の方の声>

Q：訓練を利用したきっかけを教えてください。

A：当社では基幹業務の処理において、印刷物での回覧による承認や紙資料の保管を伴う業務手順となっており、業務効率が悪く情報共有が困難な状況にありました。また、作業員は、現場での作業を終えてから事務所に戻り書類作成をする必要があるため、繁忙期は残業が多く発生していました。ITツールを活用してこうした状況を改善したいと考えていたところ、本コースを知り訓練利用を決めました。

Q：訓練を利用した感想をお聞かせください。

A：若手社員を中心に訓練を受講させたところ、身近なところから改善していけるようなアイデアがいくつか上がってきました。一人ひとりが自分の業務を改善することへの意識が向上し、モチベーションアップにつながりました。また、すでに社内で整備しているツールの便利な活用方法を学ぶことができたので、取り組んでいこうと考えています。今後は、学んだ手法を用いて、ITツールを利用した社内システムを整備し、必要な情報の共有化を図り、場所を問わずどこでも仕事ができるような業務環境への移行に役立てたいと思います。

<訓練を受講した従業員の方の声>

Q：訓練を受講した感想と今後の抱負をお聞かせください。

A：私が所属している工事部では、客先へ提出すべき書類が多くあり、現場作業をやりながら書類作成に追われています。紙媒体が多いため情報共有が困難であり、作業員間で業務の偏りがあってもそれを解消することができない状況でした。今回の訓練で、ITツールには幅広い使い方があることを知り、現場で活用していきたいと思いました。タブレットを用いて測定データを現場で入力したり、クラウドを活用してファイルの共有を行ったりして、業務効率化をしていこうと考えています。「あんなこといいな。できたらいいな。」をキーワードに3年後の自分たちを想像して、ITツールを活用した業務改革を進めていきたいです。



生産性訓練 利用者の声 (県外)

社会福祉法人愛耕福祉会

「異業種の方との交流で職業人としての『立ち位置』を発見でき、また、マネジメントを体系的に学ぶことが出来ました。」

利用コース情報

- ・訓練コース名：
「職場のリーダーに求められる統率力の向上」
- ・訓練期間：令和3年5月
- ・受講者数：3名（オープンコースの受講）

プロフィール

- ・所在地：島根県雲南市
- ・従業員数：84名
- ・事業内容：保育所経営

<訓練を利用した事業主の方の声>

Q：訓練を利用した感想をお聞かせください。

A：保育現場は子どもの保育以外にも事務的な作業を多く担っており、一人ひとりの業務負担が大きく生産性が上がらないという現状があります。また、人材育成面においてもOJTに依存しており、組織（職場）をマネジメントする意識が希薄であると感じていました。

今回の研修では、異業種の方との交流で職業人としての「立ち位置」を発見でき、またマネジメントを体系的に学ぶことができました。保育業界の研修は専門的なテーマが多く、それ以外の情報に触れることが少ないのが現状です。今後、保育者としての「視野」を広げるために1人でも多くの職員に専門分野以外の学びを体験できる、生産性向上支援訓練を活用したいと考えています。

<訓練を受講した従業員の方の声>

Q：訓練を利用した感想をお聞かせください。

A：職員が全体的に受け身で控えめなため、自ら考え行動したり発信する部分が弱いと感じていました。訓練を受講してみて、「職場の課題と解決のプロセス」を考察する中で、課題の対象が“人”である保育現場においては明確なゴールが分かりにくいと感じました。

訓練で良かった点としては、「コーチングを活用した指導法」についての学びです。保育現場の対象である“人”の課題を抽出するプロセスとして、“見えないものを捉える”ことを意識するようになりました。

今後は、失敗も含め、いろいろな経験をしていく中で、本人が存在意義を感じられるような関わり合いを通じて、職員（後輩）の持っている力を発揮できるようにしたいと思います。

